

アグリビジネス 経営塾



2004.12.24

社員教育講座 ②

能力の構造と大切なコミュニケーションの癖づけ

ブローデン・アंक・アックス株式会社 代表取締役
廣末 好彦

能力の構造をまず理解する

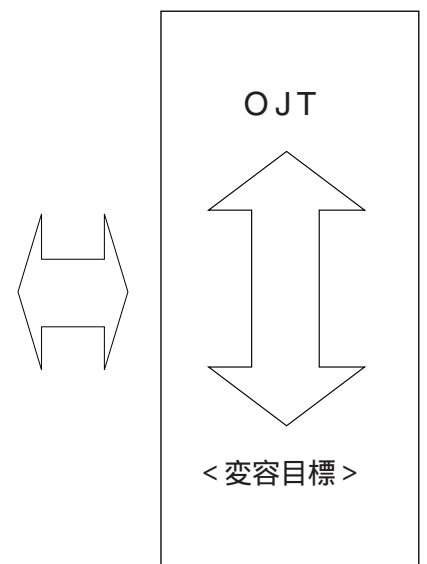
社員教育の対象能力は、性格 基礎能力
役割行動の3つです。ただし性格は変えられ
ませんから、社員教育ではそれを互いに正しく理解
するに留め、可変である「基礎能力」と「役割行
動」の2つに集中させます。

「基礎能力」は知識、技術、知能（IQ）等
あり、主として座学で学びます。社員であればそ
の保有者と考えられます。「役割行動」は実際の

仕事（職務）を通じOJT（On the Job Training
の略。職場内訓練のこと）で習得します。この「役
割行動」には仕事（職務）に応じた難易度があり、
これは既に第1回目でご説明した通りです。それ
をまとめたものが下の表です。

社員教育で難しいのは、「動機付け」です。就
農動機には、「雇用」「将来独立」「趣味」等々
さまざま、例えば「雇用希望者」は一定給料の
継続的支給を望みますが、「将来独立希望者」は

				研修体系		
				基礎能力		研修体系
				知識	技術	行動
職務階層	管理者（OJT担当）					
	社員	難易度	大	A層		
			中	B層		
			小	C層		



給料よりは知識や技術の早期習得を願っているも
のです。その意味で社員教育には給与体系を含む
人事制度や独立支援制度の制定が必要になること
があります。

基礎能力と役割行動は、研修で「変容目標」を
設定させOJTで指導し成長を図ります。つまり
「今はこれができていない」が、「3ヶ月後にで
きるようにする」、というように「小さな変容」
に何度か挑戦させ、1年単位でスタートとゴール
を比べ「成長」を確認します。研修は頻繁に実施
できないので、会議で3ヶ月毎に「小さな変容目
標」を設定させていくことが大切です。

コミュニケーションは仕事の 武器。それを正しく癖づける

よい業績（結果）はよいプロセス（原因）によ
って作られます。そのプロセスで最も多用されるの
がコミュニケーションで、よいとされる会社はこ
れが格別優れています。

コミュニケーションは「基礎能力（知識、技
術）」に含まれ、「役割行動」の発揮には欠かせ
ない能力の1つです。例えば観光農園の担当社員
はバスを降りたお客様を誘導する際に、お愛想の
1つや2つを投げかける必要があります。また営
業担当社員はやり手の生協職員を汗をかいて説得
せねばなりません。

コミュニケーションは「言う」「聞く」が一般
的ですが、強く主張する、指摘する、説得する、
傾聴する、話し合う等々を含む概念です。中でも
大切なのは「自問自答」、つまり自分自身と話し
合い考えることです。これを身につけると「ふり
かえり（知恵を獲得する）」や「問題解決（次回
詳しく説明します）」に熟達することができます。
コミュニケーションや仕事の基本は、初めから否
応なしに「癖づける」ことが大切で、これは社長
の役目になります。

新潟県中越地震救援募金 439 万円を地元の被災会員に贈呈

当協会の長谷川久夫会長は12月20日、新
潟県中越地震の被災地を訪ね、被災した法
人をお見舞い、激励するとともに、全国の
農業法人および法人組織から寄せられた救
援募金439万2,178円を新潟県農業法人協会・
忠聡会長に贈呈しました。本当に多くの会
員・組織の皆様から多額の募金を賜り、役
職員一同厚く御礼申し上げます。

お世話になりました。皆様もお 元気で！

私、佐伯文子（旧姓：成田）は、これま
でお世話になった法人協会を12月末日で退
職することになりました。ふと気づくと、
法人協会が一番の古株に・・・月日がたつ
のは本当に早いものですね。

振り返れば、法人協会との出会いは、「本
物」との出会いだったと思います。農産物
の「本物」の味を求めて、それに命をかける
「本物」の農業者の皆様と触れあえる機
会をいただいたのです。このシーンに関わっ
ていける毎日の仕事全てが、すごく衝撃的
で、かつ貴重な経験となりました。法人協
会を離れることで、皆様との直接の関わり
は薄れてしまいますが、この経験は私の宝
であり、今後も何らかの形でこのことを発
信していけたらと思っています。今後は
一消費者として皆様のご活躍を期待してお
ります。

これまで本当にお世話になりました。あ
りがとうございました。皆様もどうぞお元
気で！

「アグリビジネス経営塾」229号
2004年12月24日発行

発行：
社団法人 日本農業法人協会
東京都港区虎ノ門1-25-5
虎ノ門34MTビル
〒105-0001 H.A.G
The Agriculture Group

Tel : 03-5156-0365 Fax : 03-5156-0366
E-mail : hojin@nca.or.jp
HP : http://www.hojin.or.jp/